

平成26年度 行政評価の取組結果 (危機管理室)

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善							
施策番号・施策名	基本計画の施策を構成する主な事業	主要事業所管課名	事業概要	事業評価の成果指標 (目標・実績)					H26年度		H25年度	人件費 (目安)			H26年度				H28年度 施策の方向性		
				指標名等	現状値 (基準値)	H25年度	H26年度	中期 目標	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算額 (千円)	金額 (千円)	職位	人数	事業 評価	評価の理由	局施策 評価	局施策評価の理由および課題			
II-1-(4)-① 危機管理対応 能力の向上	防災訓練の実施	危機管理課	風水害、地震等の大災害時における防災体制について万全を期するため、災害に対する各種訓練を実施する。	防災訓練参加人数	2,738人 (H26年度)	目標	2,240 人	2,300 人	—	7,716	5,418	11,861	5,800	課長	0.20 人	大変順調	各区総合防災訓練の他、9月1日に実施した「緊急速報メール」を活用した全市民参加型防災訓練」においては市立の全幼稚園・小・中・高等学校等を含む市民約11万人、約550団体が参加し、地域とともに様々な取組みが行われた。(参加人数は成果指標から除外) また、実施後アンケートでは、約9割の方々から高い評価をいただいております。地域社会全体の防災に対する関心の高まりがみられたと考える。	順調	【評価理由】 防災訓練が順調に実施されていること、また、行政評価に係る市民アンケート調査でも、市の防災・減災対策が以前より「進んでいる」「少し進んでいる」と評価した市民が37.9%(前年39.8%)、「進んでいない」が4.0%(前年5.1%)と、一定の評価が得られていると考え「順調」と判断。 【課題】 引き続き防災訓練等により危機管理対応能力を向上させることが必要。	危機管理対応能力を向上させるため、多様な防災訓練を継続して実施する。	
						実績	3,471 人	2,738 人						職員	0.20 人						
						達成率	155.0 %	119.0 %						職員	0.20 人						
II-1-(4)-② 災害に関する 情報提供と自 助、共助の意 識づくり	防災行政無線	危機管理課	災害時における避難勧告などの防災情報は、テレビやラジオ、ホームページ、登録制防災メール・緊急速報メール、Twitter、市民防災会の連絡網などにより市民の皆さんへ伝達している。今回、津波情報等を効果的に伝達するために、地域住民に一齐に通報が可能で、災害に強い情報伝達手段である同報系防災行政無線(住民に災害情報などの放送を行う防災スピーカー)の整備を行ったもの。(平成27年度以降は維持管理のみ)	住民に津波情報や避難勧告等の防災情報を迅速かつ的確に伝達できる状態	—	目標	/	整備完了	—	213,121	331,365	666	6,150	課長	0.10 人	大変順調	災害時における避難勧告等の防災情報を地域住民へ伝達する手段が今回増えたことにより、より多くの地域住民の安全確保に対して効果を発揮することにつながったため、大変順調と判断した。	順調	【評価理由】 防災行政無線については、予定どおりH26年度に整備完了したこと、また、「みんな de Bousai まちづくり推進事業」により、自助、共助の意識づくりが順調に進められているため「順調」と判断。 【課題】 行政評価に係る市民アンケート調査では、自然災害に備えて事前に何らかの準備等をしている市民の割合が57.7%(前年57.1%)、防災に関する情報の市民認知度が48.0%(前年51.2%)にとどまっていることから、引き続き、災害に関する情報提供と自助、共助の意識づくりに向けた取組みが必要。	防災情報を地域住民へ確実に伝達するための手段・手法を検討し、効果的なものについては導入を進める。 また、自助、共助の意識づくりのため、「みんな de Bousai まちづくり推進事業」の取組みを継続して実施する。このうち、地域ぐるみの防災ネットワークの構築を目的としたモデル事業として「地区Bousai会議」を開催し、市内全域に地域の防災ネットワークを広げるための課題の整理手法の確立を行う。	
						実績	/	整備完了						課長	0.20 人						
						達成率	/	—						職員	0.40 人						
	みんな de Bousai まち づくり推進事業	危機管理課	過去の大規模災害では、自助・共助の力を向上させることが「減災」対策を推進する上で必要不可欠であることが証明された。また、「北九州市地域防災計画見直し検討会」の中でも、地域コミュニティが持つ防災力＝「地域防災力」の重要性が指摘された。これらのことから、市民が自ら「命を守りぬく」ことができる自助・共助の力を向上させるとともに、地域防災力の育成及び活性化を推進する。	地域防災の新たな担い手を育成した人数	67人 (H26年度)	目標	/	4 校区	—	12,000	12,026	5,672	8,050	課長	0.20 人	大変順調	地域ぐるみの防災ネットワークの構築を目的とした「地区Bousai会議」が4校区で開催され、校区ごとの防災計画づくりが進んだこと、また、地域防災の新たな担い手の育成を目的とした人材育成プログラムに67人の大学生が参加したことから、大変順調と判断した。	順調	【評価理由】 防災行政無線については、予定どおりH26年度に整備完了したこと、また、「みんな de Bousai まちづくり推進事業」により、自助、共助の意識づくりが順調に進められているため「順調」と判断。 【課題】 行政評価に係る市民アンケート調査では、自然災害に備えて事前に何らかの準備等をしている市民の割合が57.7%(前年57.1%)、防災に関する情報の市民認知度が48.0%(前年51.2%)にとどまっていることから、引き続き、災害に関する情報提供と自助、共助の意識づくりに向けた取組みが必要。	防災情報を地域住民へ確実に伝達するための手段・手法を検討し、効果的なものについては導入を進める。 また、自助、共助の意識づくりのため、「みんな de Bousai まちづくり推進事業」の取組みを継続して実施する。このうち、地域ぐるみの防災ネットワークの構築を目的としたモデル事業として「地区Bousai会議」を開催し、市内全域に地域の防災ネットワークを広げるための課題の整理手法の確立を行う。	
						実績	/	4 校区						課長	0.20 人						
						達成率	/	100.0 %						職員	0.40 人						
		地域防災の問題や課題の整理	危機管理課	過去の大規模災害では、自助・共助の力を向上させることが「減災」対策を推進する上で必要不可欠であることが証明された。また、「北九州市地域防災計画見直し検討会」の中でも、地域コミュニティが持つ防災力＝「地域防災力」の重要性が指摘された。これらのことから、市民が自ら「命を守りぬく」ことができる自助・共助の力を向上させるとともに、地域防災力の育成及び活性化を推進する。	地域防災の問題や課題の整理	—	目標	/	30 人	—	12,000	12,026	5,672	8,050	係長	0.20 人	大変順調	地域ぐるみの防災ネットワークの構築を目的とした「地区Bousai会議」が4校区で開催され、校区ごとの防災計画づくりが進んだこと、また、地域防災の新たな担い手の育成を目的とした人材育成プログラムに67人の大学生が参加したことから、大変順調と判断した。	順調	【評価理由】 防災行政無線については、予定どおりH26年度に整備完了したこと、また、「みんな de Bousai まちづくり推進事業」により、自助、共助の意識づくりが順調に進められているため「順調」と判断。 【課題】 行政評価に係る市民アンケート調査では、自然災害に備えて事前に何らかの準備等をしている市民の割合が57.7%(前年57.1%)、防災に関する情報の市民認知度が48.0%(前年51.2%)にとどまっていることから、引き続き、災害に関する情報提供と自助、共助の意識づくりに向けた取組みが必要。	防災情報を地域住民へ確実に伝達するための手段・手法を検討し、効果的なものについては導入を進める。 また、自助、共助の意識づくりのため、「みんな de Bousai まちづくり推進事業」の取組みを継続して実施する。このうち、地域ぐるみの防災ネットワークの構築を目的としたモデル事業として「地区Bousai会議」を開催し、市内全域に地域の防災ネットワークを広げるための課題の整理手法の確立を行う。
							実績	/	67 人						係長	0.20 人					
							達成率	/	223.3 %						職員	0.50 人					